

公益社団法人日本臨床細胞学会
2018 年度第 1 回理事会議事録

日時：2018 年 4 月 21 日（土）13:00～15:30
場所：日本臨床細胞学会事務局会議室（地下 2 階）

役員総数：41 名（理事 38 名、監事 3 名）

出席総数：理事 31 名

（理事）青木 大輔，石井 保吉，板持 広明，伊藤 仁，伊藤 潔，稲山 嘉明，井上 健，小笠原 利忠，岡本 愛光，小田 瑞恵，加来 恒壽，加藤 久盛，川本 雅司，小松 京子，齋藤 豪，佐藤 之俊，生水 真紀夫，竹島 信宏，寺本 勝寛，内藤 善哉，長尾 俊孝，中村 直哉，羽場 礼次，廣岡 保明，藤井 多久磨，前田 一郎，三上 芳喜，森井 英一，森谷 卓也，山城 勝重，横山 正俊

（顧問）長村 義之

（監事）佐々木 寛，土屋 眞一

（総務委員会幹事）藤山 淳三，星 利良，松浦 基樹，三宅 康之，山下 博，和田 直樹

（制度審議委員会委員陪席）丸 喜明

（会計士）中田 ちず子

欠席者：

（理事）池田 徳彦，植田 政嗣，榎本 隆之，九島 巳樹，白石 泰三，都築 豊徳，八重樫 伸生

（監事）長谷川 壽彦

（総務委員会幹事）小倉 豪

（制度審議委員会委員陪席）平田 哲士

理事長挨拶

青木理事長から今回は 2017 年度決算案や事業報告を中心に審議・議論を行う理事会である旨の開催挨拶が行われた。そして、今後の議事は第 59 回春期大会中の各種委員会→秋の 2018 年度第 1 回常務理事会→秋の 2018 年度第 2 回理事会と展開していくことが報告された。この報告と関連して、第 59 回春期大会中の各種委員会について、委員会に必要な書類は大会開始 2 週間前までに準備すること、議事録の締め切りは大会終了後 2 週間以内であることが森井総務委員長から報告された。

副理事長報告

内藤副理事長（学術・編集・国際交流・IAC）、加来副理事長（認定試験・検査士・教育）、佐藤副理事長（総括・財務・渉外）から各種業務が適切に進められている旨の報告が行われた。

大会準備状況

第 59 回春期大会（齋藤豪、ニトリ文化ホール [札幌]、2018 年 6 月 1 日（金）～3 日（日））、第 57 回秋期大会（中村直哉、パシフィコ横浜、2018 年 11 月 17 日（土）～18 日（日））、第 60 回春期大会（竹

島信宏、京王プラザホテル・NS イベントホール [東京]、2019年6月7日(金)～9日(日))、第58回秋期大会(森谷卓也、ホテルグランヴィア岡山・岡山コンベンションセンター、2019年11月16日(土)～17日(日))、第61回春期大会(佐藤之俊、パシフィコ横浜、2020年6月5日(金)～7日(日))に関して、それぞれ準備状況の報告が行われた。

前回議事録

前回(2017年度第4回理事会)議事録の確認が行われた。

総務委員会(委員長 森井 英一)

[報告事項]

1. 2018年度第1回常務理事会開催日を変更いたしました。
変更前：2018年10月13日(土)13:00～16:00
変更後：2018年10月6日(土)13:00～16:00
2. 日本医学会、日本医師会、厚生労働省、内閣府など関連他団体と臨床研究法、医療保険分野におけるAI活用、平成30年度医学生・研修医等をサポートするための会などに関する連携を行った(2018年3月1日～3月31日)。
3. 会員種別変更者数(理事長承認日：2018年3月1日～2018年3月27日) 準会員から正会員への変更者2名、正会員から準会員への変更者12名。
4. 事務局の問合せ対応の改善について
問合せ対応に関して改善を求めのご意見に対し、以下を改善した。
 - 1) メール対応
担当が不在などで返答の遅れが発生している状況を改善するために、複数の職員、パートでチェックを行う。
 - 2) 電話対応
火曜日は電話担当のパートが勤務できないことから、一般電話対応(03-5577-4680)を休止していたが、これを改善し平日は昼休み時間を含めて11:00から16:00まで通して電話受付を行う。
また、自動応答の改善も行う。

[審議事項]

1. 細胞診の自己採取について、日本人間ドック学会や日本婦人科がん検診学会の動向を注視することとし、引き続き継続審議案件にすることとした。
2. 学会事務局員の福利厚生費(慶弔金見舞金)について、引き続き計理委員会との継続審議案件にすることとした。
3. 学術集会参加証明再発行について、学会参加証を紛失したがマイページで参加が確認される場合、学術集会参加証明の再発行を有償(2,160円)にて行うことが可決された。

情報処理委員会(委員長 伊藤 仁)

[報告事項]

1. 情報開示の要請、ホームページへの掲載願いの対応を行った。
2. 種別・地域連携組織別マイページログイン率。ログイン率向上のため地域連携組織へ働きかける。

3. 地域連携組織別アドレス登録率。平均 90%くらいと比較的高率。
4. 学会ホームページに検索機能を追加する。
5. イエローページの機能をホームページ・メール配信に移行。

〔審議事項〕

1. 日本臨床細胞学会ホームページバナー広告掲載に関する申し合わせ（案）、基準広告掲載料（消費税別で3ヶ月30,000円・6ヶ月60,000円・1年100,000円）を可決・決定した。基準広告掲載料の決定に関しては他学会HPにおけるバナー広告掲載料の資料を参考に議論した。

学術委員会（委員長 中村 直哉）

〔報告事項〕

1. 日本医学会より WHO で開発中の Health Intervention の国際分類である International Classification of Health Interventions (ICHI) について意見募集について
ICHI は、WHO で現在作成中の「医療行為の国際分類」であり、2019 年以降の完成を目指している。7文字のアルファベットからなり、最初の3文字を器官名 (Target)、2文字を医療行為 (Action)、2文字を意義 (Means) としている [例 NME GA AD (Endometrial ablation, Hysteroscopic endometrial ablation, Includes: Dilatation and curettage)]。医療行為の分類であり、本学会の細胞診断に関する項目はないため、意見は入力しない旨を伝えた。

〔審議事項〕

1. 「2017 年度最優秀論文賞」について

- ・最優秀論文賞・英文（1名）

大橋隆治氏

Fine Needle Aspiration Cytology of the Papillary Thyroid Carcinoma with a Solid Component: A Cytological and Clinical Correlation

甲状腺乳頭癌充実型亜型 26 例を通常甲状腺乳頭癌と比較し、その細胞形態と予後を検討した論文で、細胞診が診療に貢献するような、極めて優れた内容である。

- ・最優秀論文賞・和文（該当者なし）

以上を可決した。

2. 「2017 年度学会賞」について

- ・学会賞（2名）

加来恒壽氏

金城 満氏

お二人とも業績、学会への貢献度等十分であり、加来氏は学術論文業績に秀でており、金城氏は細胞診教育業績に秀でている。

以上を可決した。

3. 「学術集会のあり方・申し合わせ」について

「秋期は、開催年度の10月から12月の連続する2日間とし、原則として各種委員会を開催せず、理事会を1日目もしくは2日目の早朝に行う。」を「秋期は、開催年度の10月から12月の連続する2日間とし、原則として各種委員会を開催しない。」に変更することが可決された。

計理委員会（委員長 岡本 愛光）

〔報告事項〕

1. 2018 年（平成 30 年）度の予算、事業計画、議事録（案）を内閣府へ提出した。
2. 内閣府より連絡があり、「予算上、法人会計が大幅な黒字となっているため、法人会計についての収支相償も図られるよう予算の修正を行うべきである」との指摘があり、黒字幅を圧縮し大幅な利益が出ないようにする確約書を作成、書類を内閣府に提出している。
3. 2017 年（平成 29 年度）2018 年 4 月 18 日（水）に監査会を行った。
4. 2013 年度からの年度別収支推移（収入・支出・銀行残高）。収支相償を図る。

〔審議事項〕

1. 2017 年度（平成 29 年度）の決算案、資産管理に関する施行細則案、特定費用準備資金の取扱いに関する施行細則案を可決した。特定費用準備資金（将来の公益事業における特定の目的のために用途を限定）として特別公募研究費（学術委員会担当）、各地域連絡組織が行う細胞診の公開講座への補助費用（地域連絡委員会担当）、若手会員に対する IAC 国際学会へのトラベルグラント（学術委員会担当）を積み立てることにより、公益目的事業会計での黒字の解消に努めることも可決した。

編集委員会（委員長 竹島 信宏）

〔報告事項〕（2018 年 4 月 11 日時点）

1. 投稿論文

調査対象期間

2014 年投稿論文：113

2015 年投稿論文：75

2016 年投稿論文：79

2017 年投稿論文：55

2018 年投稿論文：13

採用率

2014 年投稿論文：77.0%

2015 年投稿論文：70.7%

2016 年投稿論文：65.8%

2017 年投稿論文：70.9%

2018 年投稿論文：7.7%

会員よりの海外論文への投稿状況（2015 年～2017 年）

Acta Cytology は 16 本/3 年（原著 14 症例 2）

Diagnostic Cytology は 53 本/3 年（原著 33 症例 20）

2. 株式会社 メテオ メディカルオンライン学会誌 57 巻第 2 号配信作業の完了
3. 2017 年日本臨床細胞学会雑誌第 57 巻第 2 号の発刊
4. イエローページの在り方について引き続き編集委員会と情報処理委員会で協議
5. 依頼稿の依頼

山梨大学医学部 産婦人科学教室 端 晶彦 先生 諾否の期限：3 月 30 日

依頼原稿の期限：8 月 31 日

査読：なし

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医委員会（委員長 齋藤 豪）

〔報告事項〕

1. 2017 年細胞診専門医資格更新対象者の更新作業
2018 年 3 月 16 日（金）更新作業完了通知発送
現行の細則に則って粛々と専門医の資格更新を行った
2. 細胞診断学セミナーのあり方について継続して検討
※ 2018 年開催日本臨床細胞学会総会（春期）大会中に 2018 年細胞診専門医試験委員長・副委員長
会議開催時に細胞診断学セミナー講師の先生方と合同で行う
3. E-learning の改訂版を公開準備中
4. 教育研修指導医資格更新案内の発送とホームページへの掲載
<http://jscc.or.jp/news/2018k-shidouishinsei/>
5. 教育研修指導医新規申請のメールによる会員への周知とホームページへの掲載
<http://jscc.or.jp/news/2018k-shidouishinsei/>
6. 2018 年細胞診資格認定試験委員長に山下博先生を選出
7. 2018 年細胞診資格認定試験副委員長・委員選出を山下博先生へ一任

〔審議事項〕

特になし

施設認定制度委員会（委員長 長尾 俊孝）

〔報告事項〕

1. 2018 年度新規施設認定について（2018 年 4 月 11 日現在）
2018 年 3 月 31 日（土）締め切りとし、12 施設の申請があった。後日審査会にて審査を行う。
2. 2018 年度新規教育研修施設認定について（2018 年 4 月 11 日現在）
2018 年 3 月 31 日（土）締め切りとし、現在 11 施設の申請があった。後日審査会にて審査を行う。
3. 2017 年度施設年報提出状況（2018 年 4 月 11 日現在）
全 850 施設中 提出済：785 施設（92.4%）、未提出：65 施設（7.6%）
4. 2017 年度教育研修施設年報提出状況（2018 年 4 月 11 日現在）
全 316 施設中 提出済：300 施設（94.9%）、未提出：16 施設（5.1%）
5. 2017 年度認定施設更新状況（2018 年 4 月 11 日現在）
更新対象認定施設番号：0800-0820、0870-0883、0917-0929
全 48 施設中 申請書提出済：44 施設（91.7%）、未提出：4 施設（8.3%）、辞退：0 施設
6. 2017 年度教育研修施設更新状況（2018 年 4 月 11 日現在）
更新対象認定施設番号：0045-0167、0191-0309
全 238 施設中 申請書提出済：198 施設（83.2%）、未提出：36 施設（15.1%）、辞退：4 施設
7. 2016 年度認定施設提出年報の集計結果をホームページへ掲載した。

〔審議事項〕

1. (教育研修) 施設認定に関する施行細則改定について以下3点の改定案が提案された。
 - ・「認定を受けた施設が認定基準を満たさなくなった場合には速やかに届け出て、認定を辞退しなければならない」の記載箇所を(認定の取消し)項目から(認定の基準)項目に変更
 - ・(認定施設の公表)項目で認定施設を日本臨床細胞学会雑誌に掲載して公表するとしていたのを日本臨床細胞学会ホームページに掲載して公表するに変更
 - ・(認定の取消し)項目に「更新時に認定期間内の年報の提出を怠っていた場合にも認定を取り消すことがある」を追記以上を可決した。

細胞検査士委員会 (委員長 加藤 久盛)

〔報告事項〕

1. 2018年3月11日(日)に第51回細胞検査士資格認定試験第1回運営委員会が開催され、今後のスケジュール等を決定した。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士資格更新審査委員会 (委員長 羽場 礼次)

〔報告事項〕

1. 2017年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー (グレー)

0001～0008、0009～0068、0195～0272、0440～0584、0913～1060、1354～1557、2259～2457、3120～3457、4210～4452、5135～5349、6051～6203、6749～6943、7686～7876、8613～8869

全更新対象者：1781人

更新完了者 1654名 (92.9%) 条件付更新可 25名 (1.4%) 保留 1名 (0.1%)

カード等不備有で更新未完了 6名 (0.4%) 未申請 19名 (1.1%)

更新辞退 29名 (1.6%)

退会済・退会申請中 47名 (2.6%)

(2018年3月26日現在)

上記の内、カード等不備有で更新未完了の33名には2月下旬に個々に連絡し、不備の訂正を確認後、更新可または条件付更新可とする。

未申請22名(更新審査会時点での未申請者数)へはレターパックプラスにて最終意志確認をし、期限までに(2018年3月末日)応答の無い者は資格失効とする旨委員会で決定した。

なお期日までに無応答だった者は15人おり、その15人へは2017年11月、2018年1月、2月と3回郵送で本人に連絡し、更に電話番号がある人へは電話で連絡したが無応答だった。従って資格失効とする。

2. 2018年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー (ブルー)

0069～0137、0273～0363、0585～0759、1061～1146、1558～1829、2458～2692、3458～3666、4453～4725、5350～5618、6204～6369、6944～7208、7877～8158、8870～9151

更新予定者：2068人

※2019 年 2 月～3 月に更新審査予定

〔審議事項〕

特になし

教育委員会（委員長 生水 真紀夫）

〔報告事項〕

1. 本年度開催講習会予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 127 回細胞検査士養成講習会	2018 年 7 月 2 日（月） ～14 日（土）	東京医学技術専門学校・伊藤 仁
第 43 回細胞診断学セミナー	2018 年 8 月 9 日（木） ～12 日（日）	東京医学技術専門学校・教育委員長
第 75 回細胞検査士教育セミナー	2018 年 8 月 25 日（土） ～26 日（日）	パシフィコ横浜メインホール：加藤拓
第 76 回細胞検査士教育セミナー	2018 年 9 月 8 日（土） ～9 日（日）	アクロス福岡 イベントホール：阿部 英二
第 76 回細胞検査士ワークショップ	2018 年 7 月 21 日（土） ～22 日（日）	日本医科大学・小松京子
第 77 回細胞検査士ワークショップ	2019 年 2 月 16 日（土） ～17 日（日）	広島大学・小川勝成

2. 細胞検査士養成講習会における受講料の値上げについて

2017 年度から、顕微鏡借料がそれまでの 2 倍以上に値上げ〔一台あたりおよそ 2 万〕となったため、2018 年度からは参加費を¥83,000（税込¥89,640 円）に値上げした。

3. 受講者が減少している細胞診断学セミナーについて改善策を検討中である。

〔審議事項〕

特になし

渉外・広報委員会（委員長 小田 瑞恵）

〔報告事項〕

1. 会員とのコミュニケーションをより充実させるために、学会誌が HP にアップした際、全会員に目次付の一斉メールを送信することとし、学会雑誌第 57 巻 2 号より開始した。

2. 「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」のバナー掲載に関して、計 4 回バナーの変更をして欲しいとの依頼があった。前理事会にて相手方が費用負担するならバナー掲載すると決議された為、相手側にその旨伝えたと、バナー変更はしなくて良いとの回答をいただいた。

3. 会員への積極的な広報を行うために、イエローページに掲載している内容をピックアップし会員にメール配信を行う予定である。それに伴い現行のイエローページで定期的に配信している内容をまとめた。また、各委員会委員長へ会員に配信内容についてのアンケートを行った。

現在、イエローページの在り方について編集委員会と情報処理委員会で協議しているので、その結果で配信内容を検討したい。

〔審議事項〕

1. 細胞検査士会 伊藤仁会長より子宮の日無料配布冊子（冊子名「まもること」）の作成・印刷の提案を受け、2019 年から日本臨床細胞学会が請け負うか否について検討した。本会が学会事業として費用を全額負担して現行と同様の冊子を作成することは困難と判断した。しかし、協賛金等の協力なら可能かもしれないので、細胞検査士会から新たな提案があれば継続して審議していく方針となった。

社会保険委員会（委員長 稲山 嘉明）

〔報告事項〕

1. 既に報告したように平成 30 年度診療報酬改定が決定した。今回の改定を振り返り、次回改定にむけた審議を開始する。

〔審議事項〕

特になし

地域連絡委員会（委員長 廣岡 保明）

〔報告事項〕

1. 2016 年度地域学会・連合会活動報告を回収し、集計中である。
47 地域学会および 7 連合会の活動報告を回収、集計中である。
2018/3/26 現在 2 件未着。
※集計中のデータ一覧が報告された後、「公費検診数」の「子宮体癌」項目のデータについて記載なし・集計なし・不明が散見されるので、「子宮体癌」項目を外すことが提案された。
2. 子宮頸がん検診推進活動支援について
2018 年度の活動支援について
各地域学会（47 件）に申請希望について書類を 2 月上旬に送付した。
支援費用については、5 万円を上限とする。
3 月末までに受け付けた申請地域学会には、成果報告書の提出をお願いしている。
3. 過去の細胞診定点観測集計結果の論文文化について、現在作業中である。

〔審議事項〕

特になし

国際交流委員会（委員長 森谷 卓也）

〔報告事項〕

1. 2 国間交流
 - 1) 第 25 回 タイ-日本 細胞診ワークショップの報告（担当：細根委員、片山委員）
（The 25th Thai-Japanese Workshop in Diagnostic Cytopathology）
2018 年 1 月 17 日（水）～19 日（金）にチェンマイにて第 25 回 日・タイ細胞診ワークショップが開催された。
 - 2) カンボジアからの学術集会への定期的な招請：本年の総会は先方の選挙期間にあたり中止。
 - 3) 日中交流：2018 年 6 月 15 日（金）～17 日（日）にフーナン省チャンサー（長沙）で開催される中国の細胞学会に、日本からキーノートスピーカー 1 名とシンポジウムの演者 4 名を派遣

(担当：唐幹事、伊藤幹事)。

4) 第 17 回日韓細胞診合同会議 2018 年 9 月 8 日 (土) 釜山 (担当：佐藤委員)

2. 国際・アジアフォーラム

1) 第 59 回日本臨床細胞学会総会春期大会 (会長 斎藤豪)

開催日：2018 年 6 月 1 日 (金) ～3 日 (日)

開催地：札幌

国際・アジアフォーラム (Global Asia Forum)

担当：細根委員、片山委員

2) 第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会 (会長 中村直哉)

開催日：2018 年 11 月 17 日 (土) ～18 日 (日)

開催地：横浜

国際・アジアフォーラム (Global Asia Forum)

担当：田尻委員

3) 第 60 回日本臨床細胞学会総会春期大会 (会長 竹島信宏)

開催日：2019 年 6 月 7 日 (金) ～9 日 (日)

開催地：東京

国際・アジアフォーラム (Global Asia Forum)

担当：小松委員

4) 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会 (会長 森谷卓也)

開催日：2019 年 11 月 16 日 (土) ～17 日 (日)

開催地：岡山

国際・アジアフォーラム (Global Asia Forum)

担当：廣岡委員

3. その他

1) 第 41 回欧州細胞学会議 (2018 年 6 月 10 日 (日) ～14 日 (木)、スペイン、マドリッド) に
おける Companion Meeting：甲状腺及び子宮内膜のセッション。

〔審議事項〕

特になし

制度審議委員会 (委員長 川本 雅司)

〔報告事項〕

1. 2017 年度第 4 回理事会 (3 月 10 日開催) にて承認された定款・施行細則最新版をホームページへ掲載した。
2. 2017 年度第 4 回理事会 (3 月 10 日開催) にて承認された内規・申合集最新版を完成させた。
3. 情報処理委員会から提示された「バナー広告申し込みに関する申し合わせ」に関しての協議を実施した。
4. 学術委員会から提示された「学術集会のあり方・申し合わせ」に関しての協議を実施した。
5. 計理委員会から提示された「資産管理に関する施行細則案」、「特定費用準備資金の取扱いに関する施行細則案」に関して委員長からコメントを委員会に述べた。

6. 施設認定制度委員会からの「施設認定に関する施行細則」「教育研修施設認定に関する施行細則」改定案の協議を実施した。

〔審議事項〕

1. 上記〔報告事項〕3 について情報処理委員会〔審議事項〕1 のように可決した。
2. 上記〔報告事項〕4 について学術委員会〔審議事項〕3 のように可決・決定した。
3. 上記〔報告事項〕5 について計理委員会〔審議事項〕1 のように可決した。
4. 上記〔報告事項〕6 について施設認定制度委員会〔審議事項〕1 のように可決した。

医療安全委員会（委員長 藤井 多久磨）

〔報告事項〕

1. 第 59 回日本臨床細胞学会春期大会において、2018 年 6 月 2 日（土）10 時 40 分～11 時 40 分、さっぽろ芸文館 1F ROOM1 にて札幌医科大学、病院経営・医療安全学、教授、土橋和文先生が演者で医療安全セミナーを開催予定である。演題名は「多重複雑化する安全管理の仕組み：特定機能病院の場より」である。
2. 第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会において、医療安全セミナーを帝京大学医学部付属溝口病院臨床検査科の水口國雄先生が演者で開催予定である。開催日時は未定である。

〔審議事項〕

特になし

倫理委員会（委員長 伊藤 潔）

〔報告事項〕

1. 第 59 回(2018 年) 春期大会では、倫理委員会指定セミナーとして、旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野教授 西川 祐司先生による講演を行う。
2. 第 57 回(2018 年) 秋期大会では、倫理委員会指定セミナーとして、明治大学法学部准教授 小西 知世先生による講演を行う。

〔審議事項〕

特になし

利益相反委員会（委員長 板持 広明）

〔報告事項〕

1. 前回の理事会にて、「細胞診断学に関連する医学研究の利益相反に関する指針」、「細胞診断学に関連する医学研究の、利益相反に関する指針の施行細則」および「利益相反自己申告書（様式 1～3）」の改訂案が可決された。
2. 2018 年 3 月 15 日（木）に送付した「利益相反自己申告書（2017/1/1～12/31）」は、対象者 58 名全員提出済み。後日、委員長が、事務局にて内容を確認する予定。

〔審議事項〕

特になし

臨床試験審査委員会（委員長 前田 一郎）

〔報告事項〕

1. 臨床試験審査を随時行っていく。

〔審議事項〕

特になし

IAC 連絡委員会（委員長 長村 義之）

〔報告事項〕

1. Acta Cytologica Impact Factor について

IF を設定している Clarivate 社に出版社 Karger 社を通してアプローチしている。

IAC として諸種のファクターの可能性も考えなるべく早く IF を“奪回”すべく鋭意努力している。

2. US-Canada IAP (USCAP) 2008 (Vancouver Canada) の期間中 (3 月 18 日 (日)) に第 1 回の IAC Companion Meeting が開催された。IAC Cytology Reporting system の Companion Symposium を行った。大変盛会であった。来年度も継続される予定である。
3. 41st European Congress of Cytology (ECC) は 2018 年 6 月 10 日 (日) ~14 日 (木) にスペインの Madrid で開催される。会期中に IAC 理事会が開催される。
4. 第 20 回国際細胞学会 ICC 2019 はシドニーにおいて 2019 年 5 月 5 日 (日) ~9 日 (木) に開催される。JSCC から多くの方が参加されるよう期待されている。

〔審議事項〕

特になし

臨床試験ワーキンググループ（委員長 寺本 勝寛）

〔報告事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究 (CITRUS study)」(山梨県、千葉県柏市)
 - ① 2018 年度子宮頸がん検診対象者に勸奨ハガキを発送した。
 - ② 検診医療機関へ「2018 年度における被験者への対応方法についてのお知らせ」を発送した。
2. 「子宮頸がん疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」
 - ① 探系的評価項目に関する追跡解析
 - ② 論文投稿予定
 - ③ 学会発表予定 (第 59 回日本臨床細胞学会、第 27 回日本婦人科がん検診学会)
3. CITRUS study における液状化検体細胞診の妥当性を評価した論文が掲載された。

Hiroshi Nishio, et al..

Liquid-based cytology versus conventional cytology for detection of uterine cervical lesions: a prospective observational study: Japanese Journal Clinical oncology, 2018, 1-7

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ（委員長 植田 政嗣、代理：森井 英一）

〔報告事項〕

1. 暫定教育研修指導医の内、2017 年秋期大会の細胞診専門医セミナーに参加した事により教育研修指導医へ移行した者 10 名へ認定証を発送した。
2. 教育研修指導医の更新案内を発送した。3 月末日締め切り後、審査を経て更新可の方へ新しい期間の認定証を発送する。
更新対象者：教育研修指導医番号 0001～0263（263 人）
更新後の新認定期間：2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日（5 年後）
3. 教育研修指導医の新規申請受付を開始した。3 月末日締め切り後、審査を経て可の方へ認定証を発送する。
4. 日本病理学会、日本産婦人科学会、日本外科学会にサブスペシャルティー学会として当学会を位置づけしてもらうように働きかけているサブスペシャルティー学会の最新動向。

〔審議事項〕

特になし

肺がん学会とのワーキンググループ（委員長 渋谷 潔）

〔報告事項〕

特になし

〔審議事項〕

特になし

ゲノム診療時代における細胞診のあり方検討ワーキンググループ（委員長 森井 英一）

〔報告事項〕

1. 前回の理事会にて委員の追加が承認され、2018 年 6 月 1 日にワーキンググループ会議を開催する。

〔審議事項〕

特になし

肺癌細胞診の診断判定基準の見直しに関する合同ワーキンググループ（委員長 佐藤 之俊）

〔報告事項〕

1. 肺癌学会との合同 WG「肺癌細胞診の診断判定基準の見直しに関する合同ワーキンググループ」を 2018 年 4 月 5 日（木）に開催した。

〔審議事項〕

特になし

その他の報告

1. 評議員選出について

2018 年 4 月 27 日（金）に評議員業績点数の事前開票を行うこと、2018 年 4 月 28 日（土）の第 2 回評議員選出委員会で審査を行って評議員候補者を決定すること、そして、2018 年 5 月中旬のみなし理事会にて評議員候補者の承認・確定を行うことが報告された。

2. 総務庶務報告

2018年4月16日現在の総務庶務報告が以下のとおり行われた。

全会員数：12,414名

(正会員 5,569名, 準会員 6,619名, 名誉会員 41名, 功労会員 164名, 図書会員 21件)

細胞診専門医および細胞診専門歯科医数：2,882名(実数)

(認定：細胞診専門医 3,500名、細胞診専門歯科医 60名)

FIAC：104名 MIAC：37名

細胞検査士数：7,577名(実数)(認定9,825名)

CT(IAC)：4,690名

3. 物故会員(2017年10月19日～2018年4月16日)

名誉会員 高見澤 裕吉 殿(独立行政法人地域医療機能推進機構千葉病院 産婦人科)

功労会員 香澤 武 殿(公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター)

関場 香 殿

武内 久仁生 殿((財)兵庫県健康財団細胞診センター)

筒井 章夫 殿

正会員 定平 吉都 殿(川崎医科大学 病理学1)

準会員 小松原 彰 殿((財)石川県予防医学協会 検査部)

比嘉 美香 殿(琉球大学医学部附属病院 病理部)

黙祷

審議事項

1. 第59回春期大会社員総会招集について

日程(2018年6月3日(日)16:00～18:00)および議案(2017年度事業報告の承認について、2017年度決算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認について)が可決された。

2. 2017年度事業報告について

2018年度社員総会に議決事項として出す2017年度(平成29年度)の事業報告案が可決された。

3. 2017年度決算について

計理委員会〔審議事項〕1のように2017年度(平成29年度)の決算案が可決された。

4. 会員資格停止について

会費3年滞納者(医師81名・技師24名・細胞検査士32名・細胞診専門医16名)の会員資格を停止することが可決された。

5. 会員資格復帰について

春期大会・理事会にて会費滞納により退会処分されたが、復会願いを提出してきた方々8名の復会が可決された。

6. 第59回秋期大会大会長選出について

大会長選出メンバーは以下のとおり。植田政嗣 副理事長は欠席。

理事長 青木大輔

前理事長 佐々木寛

副理事長 加来恒壽、植田政嗣、佐藤之俊、内藤善哉

学術委員会委員長 中村直哉

(役員等選任に関する施行細則第2条より)

協議の結果、伊藤仁 理事が全員一致で大会長に選出された。2020年11月21日(土)～11月22日(日)にパシフィコ横浜の新会場を使用することも検討しているが、資金を調達することの困難さが予想されるため、コンベンション会社や会場について今後協議する。

以上で本理事会の議題が終了し、佐藤之俊 副理事長の閉会挨拶をもって本理事会を終了した。

2018年 6月21日

この議事録が正確であることを証します。

理事長

青木大輔 

監事

佐々木寛 

監事

土屋真一 